



日本ユースの声を！
～日本ユースから世界の政府、人々へ～

「世界平均気温の上昇を工業化前から摂氏2度以内に抑える」

昨年コペンハーゲンで開催されたCOP15は、全締約国の合意の下に2013年以降の国際枠組みについて合意することはできませんでした。

私達CYJは、京都議定書と名古屋議定書の採択の地である日本のユースとして、COP17で次期枠組みに確実に合意するためのロードマップを、COP16において策定することを求めます。

さらに私達CYJは、次期枠組みの内容として、以下の文言の採用を求めます。

『全ての締約国は、衡平の原則に基づき、かつ、持続可能な開発の文脈において、世界平均気温の上昇を工業化前から摂氏2度以内に抑え、気候変動の死活的な影響を特に受けやすい国に対して、国際的な資金援助を含む包括的な適応計画を作成するために、緊急かつ実効性のある対策を協働して講じなければならない。』

また、私達CYJは、全締約国が、利用可能な最善の科学に基づき、将来世代への気候変動による死活的な影響を避けるべく、長期的に協力的な行動を取ることを求めます。

・ Climate Youth Japanとは？

Climate Youth Japanは、気候変動問題に取り組む日本の若者の社会的影響力を高めることを通じて、将来世代にとって衡平で持続可能な社会の実現に貢献します。

なぜなら、今後気候変動による深刻な影響が長期にわたって及ぶことが予測される中、同世代の声、そして将来世代のまだなき声を社会に発信していく必要があると私たちは考えるからです。

そのために、1. 同世代の気候変動問題に対する当事者意識の喚起、2. 各分野において国内外で活躍する青年活動家のネットワーク構築、3. 世代間倫理に基づいた政治・行政・産業など各セクターへの意見発信・政策提言に取り組んでいます。

担当者連絡先：佐藤慎一（東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程1年）

現地電話番号：998-102-6006

Eメールアドレス：sato@marenv.k.u-tokyo.ac.jp